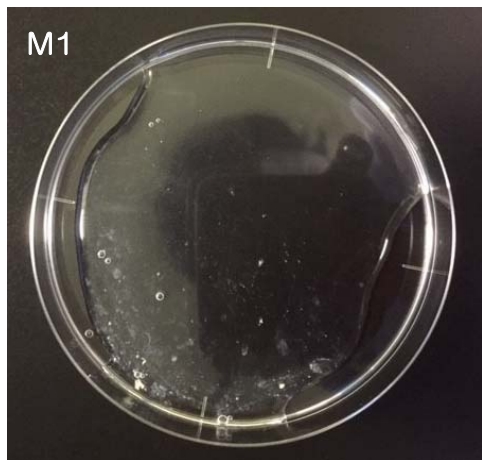


検査に適した喀出痰の例

悪い出痰の例

唾液（つば）、完全な粘液性



M1

M2：粘液痰の中に少量の膿性痰を含む

少量でも膿性部分があれば、その部分を培養します。

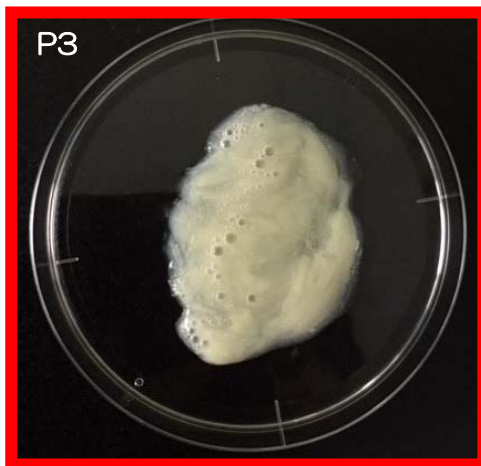
良い喀出痰の例

膿性部分がある ◇新鮮である ◇うがいなどの後で口の中の雑菌が除かれている



P1

膿性部分が 1/3 以下



P3

膿性部分が 2/3 以上

検査に適した便の性状

CDトキシン検査では、プリストル便形状スケール5以上で検査することを推奨しています。

《プリストル便形状スケール》

1	コロコロ便		硬くてコロコロの 兎糞状の便
2	硬い便		ソーセージ状であるが 硬い便
3	やや硬い便		表面にひび割れのある ソーセージ状の便
4	普通便		表面がなめらかで柔らかい ソーセージ状、あるいは 蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便		はっきりとしたしわのある 柔らかい半分固形の便
6	泥状便		境界がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の 小片便 泥状の便
7	水様便		水様で、固形物を含まない 液体状の便



正しい結果は、正しい検体採取から！

令和元年12月
感染制御部